

科目 No.	26
授業科目名 (英語表記)	グローバルヘルスと子どもの保健 ～健康格差の改善～ Global Health and Children's Health, Narrow the Health Gap
授業の実施場所	自宅等からオンラインで参加
使用言語	日本語
単位数	1
開講時期	2月18日(木)～19日(金) (4コマ×2日) [8:40～15:50]
授業形態	講義・演習
受講者数	最少10人～最大12人
担当教員	宇都宮短期大学人間福祉学科准教授 益川 順子
開設大学	宇都宮短期大学
授業の内容	<p><b>【授業の内容】</b></p> <p>グローバルヘルス (Global Health) とは、グローバルレベルで人々の健康に影響を与える課題を解決するために、グローバルな協力や連携が必要な領域のことを指しています。このグローバルヘルスの課題は、援助を行う側と援助を受ける側の二国間 (International) だけでなく、国際社会全体でその対策を講じる必要があります。その中で、2000年前後から、国連が定めるミレニアム開発目標として、HIV、結核、マラリアの三大感染症について、重要なグローバルヘルスの課題として国際社会が取り組んできています。今日では、気候変動、精神疾患、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ、非感染症なども、世界共通の公衆衛生の重要な課題として捉えられるようになってきました。また、最近では、精神的・身体的・社会的立場の弱い子どもが、その特性や貧困により、健康格差の影響下に置かれやすいことも問題となっています。</p> <p>そこで、本講義では、グローバルヘルスの視点から、国内外における子どもの保健と医療福祉における諸問題と健康格差の改善について考えていきます。</p> <p>*1日目 (講義・演習) : 海外の子どもの保健と福祉の現状と課題 (子どもの貧困と保健)</p> <p>*2日目 (講義・演習) : 日本の子どものこころとからだの健康と安全 (貧困と保健・不慮事故防止と安全・救急蘇生法、救急看護、応急処置)</p>
教科書・参考書・教材等	必要な資料等は、メール等で配付します。
成績評価	出席状況及び課題に基づき評価します。
学修上の助言	国内外の子どもの健康と幸福について知見を深め、解なき問題の改善について、創造と思考をしていただくと良いでしょう。